

複数のマッサージ機構に関する技術

利用分野

マッサージ機構を複数搭載する製品を扱う分野であれば、どの分野でも利用可能です。

技術の必要性

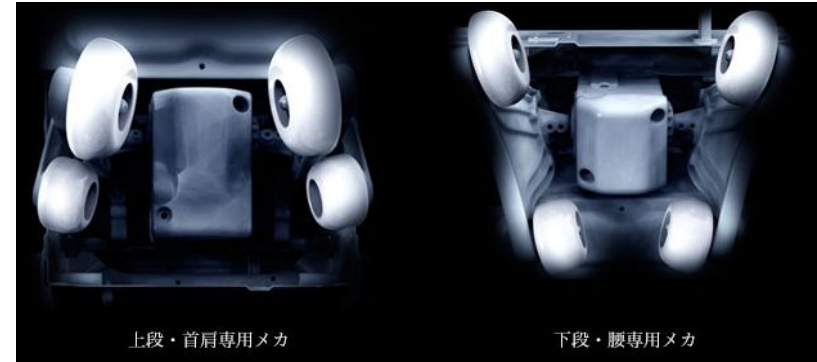
マッサージ機構の構造に活用することができる技術です。

対象特許権

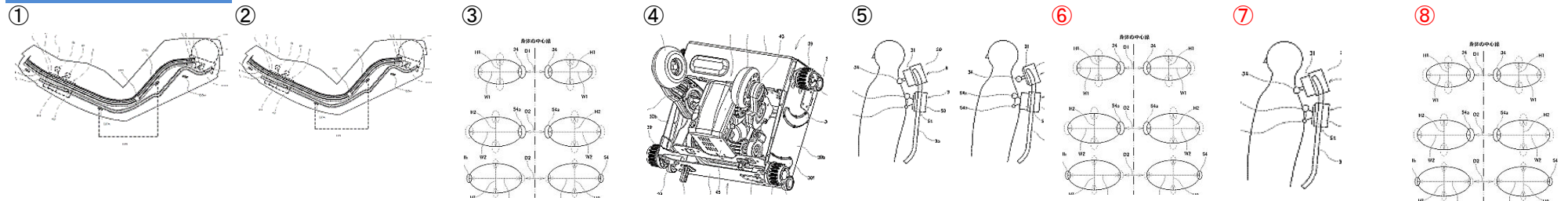
- ①特許第6389592号(上下メカの移動領域)
- ②特許第6470882号(上下メカの移動領域)
- ③特許第6463076号(上下で揉み軌跡の異なるメカ)
- ④特許第6463077号(上下メカの衝突防止センサ)
- ⑤特許第6562641号(マッサージ動作)
- ⑥特許第6997072号(マッサージ動作)
- ⑦特許第7053044号(マッサージ動作)
- ⑧特許第7053072号(マッサージ動作)

対象特許権の概要

- ①上下メカの移動領域
- ②上下メカの移動領域
- ③上下で揉み軌跡の異なるメカ
- ④上下メカの衝突防止センサ
- ⑤マッサージ動作
- ⑥マッサージ動作
- ⑦マッサージ動作
- ⑧マッサージ動作



代表図



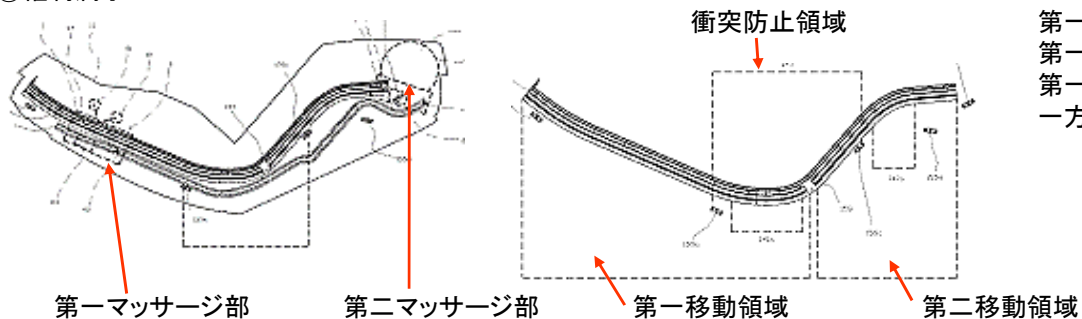
複数のマッサージ機構に関する技術

特許権の提供条件等

提供条件等については、別途ご相談ください

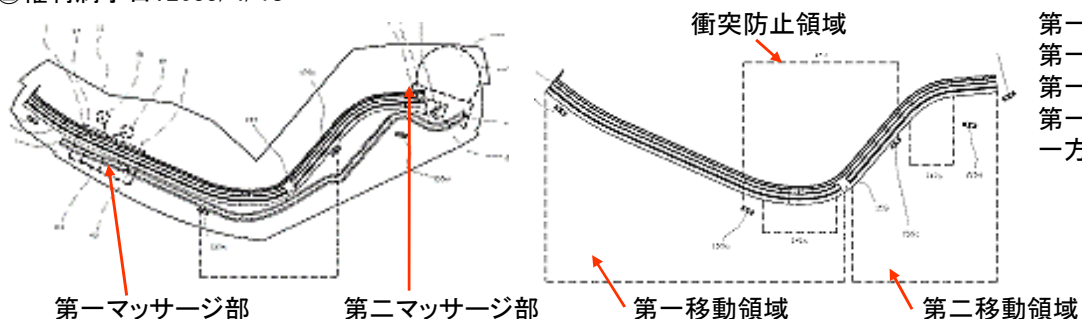
活用イメージと権利期間

①権利満了日:2033/7/9



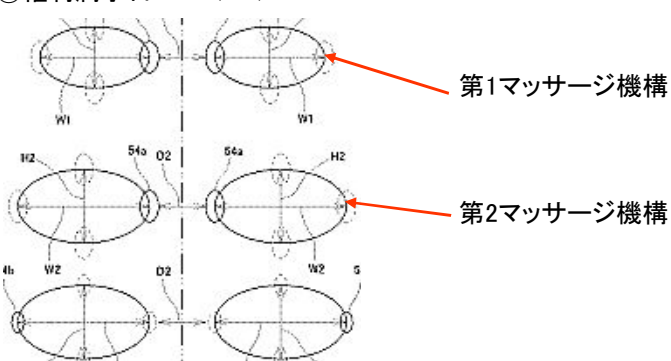
第一マッサージ部と第二マッサージ部は、それぞれ独立して移動可能
 第一移動領域(背凭れ部～座部)と第二移動領域(フットレスト～座部)がある
 第一移動領域の一部と第二移動領域の一部を含む衝突防止領域がある
 一方が衝突防止領域に侵入したことを検出すると、他方を停止 or 離れる方向に移動

②権利満了日:2033/4/18



第一マッサージ部と第二マッサージ部は、それぞれ独立して移動可能
 第一移動領域(背凭れ部～座部)と第二移動領域(フットレスト～座部)がある
 第一マッサージ部は第一移動領域内を、第二マッサージ部は第二移動領域内を移動
 第一移動領域の一部と第二移動領域の一部を含む衝突防止領域がある
 一方が衝突防止領域に侵入したことを検出すると、他方を停止 or 離れる方向に移動

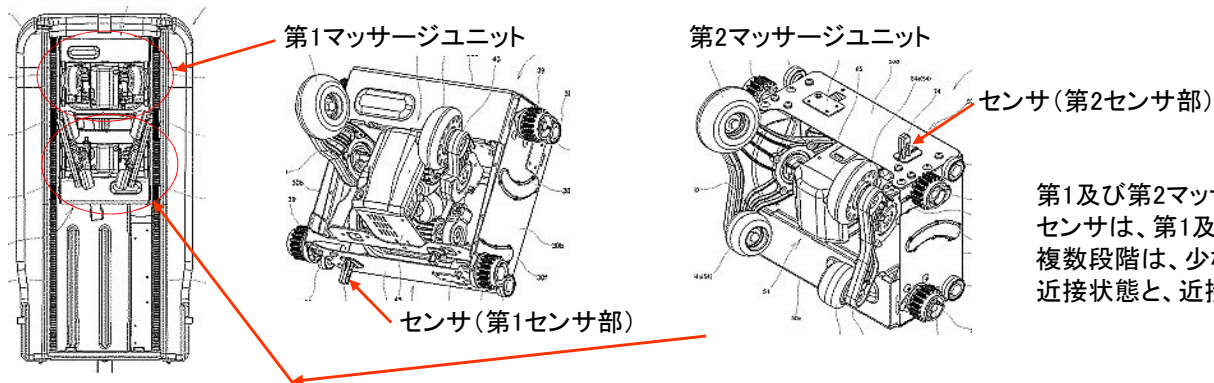
③権利満了日:2034/10/24



第一マッサージ機構と第二マッサージ機構は、ループ状の軌跡を描いて動作する
 第1マッサージ機構の傾斜軸の傾斜角度と第2マッサージ機構の傾斜軸の傾斜角度とを異ならせる
 (ループ状の軌跡の左右方向の範囲が異なるように設定)

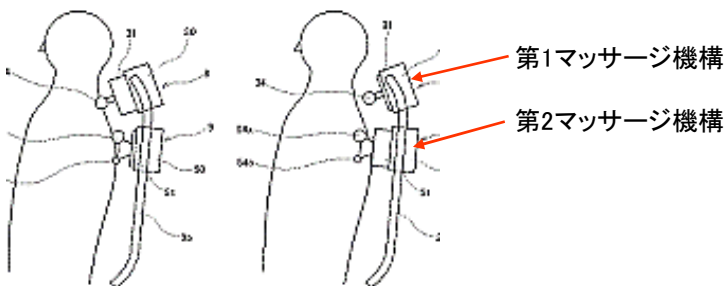
複数のマッサージ機構に関する技術

④権利満了日:2034/10/24



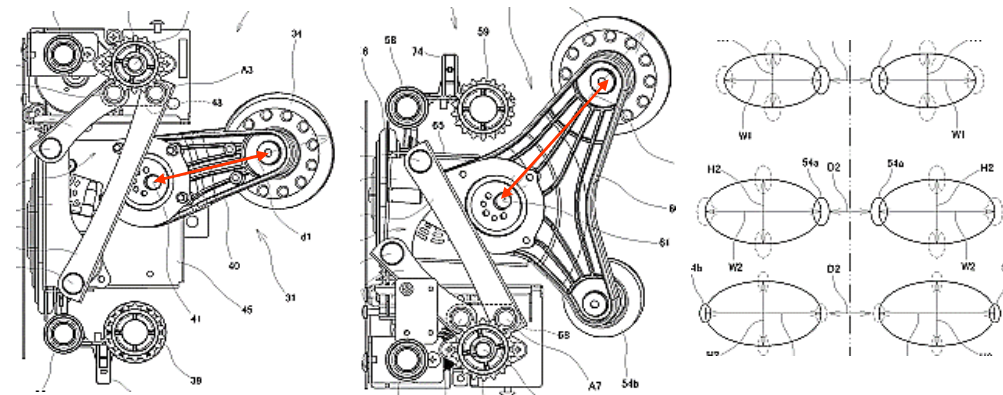
第1及び第2マッサージユニットの位置を変更することで同一の被施療部をマッサージ可能
 センサは、第1及び第2マッサージユニットの間隔を複数段階検出することができる
 複数段階は、少なくとも第1及び第2マッサージユニットの間隔が所定距離まで近づいた
 近接状態と、近接状態よりも若干離反した近接前状態の2段階の状態を有する

⑤権利満了日:2035/1/31



第1マッサージ機構の施療子と第2マッサージ機構の施療子とを、タイミングをずらして進出又は後退させる
 一方のマッサージ機構の施療子の進出に同期して、他方のマッサージ機構の施療子を後退させる

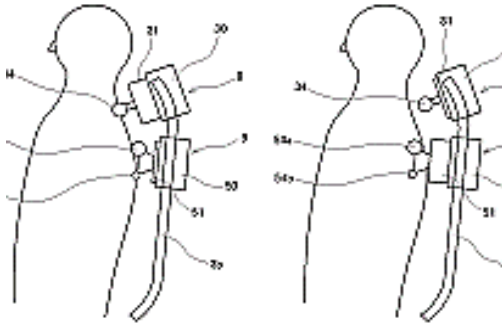
⑥権利満了日:2034/10/24



第1マッサージ機構の施療子～第1マッサージ機構の揉み軸までの距離と
 第2マッサージ機構の施療子～第2マッサージ機構の揉み軸までの距離とを異ならせる
 揉み動作における対の施療子のループ状の軌跡の左右方向の範囲が異なるように設定

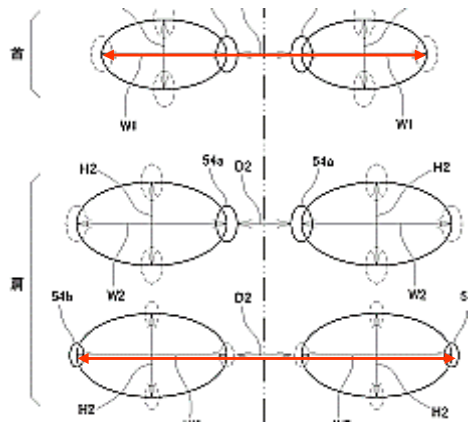
複数のマッサージ機構に関する技術

⑦権利満了日:2035/1/31



第1マッサージ機構により左右方向からの首の挾持を所定時間行わせた状態で、それと同時に、第2マッサージ機構に叩き動作を含む動作を行わせる

⑧権利満了日:2035/1/31



揉み動作における第2マッサージ機構のループ状の軌跡における最大左右間隔は、第1マッサージ機構のループ状の軌跡における最大左右間隔よりも大きくなるように構成
最大左右間隔は、対をなす施療子が互いに最も離反した位置における間隔